

オープンサイエンスに向けた 具体的活動1（OA方針）

オープンアクセス方針策定：横浜国立大学の事例

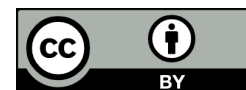
図書館総合展2018フォーラム

オープンサイエンス、どこからどう手をつけるか？：

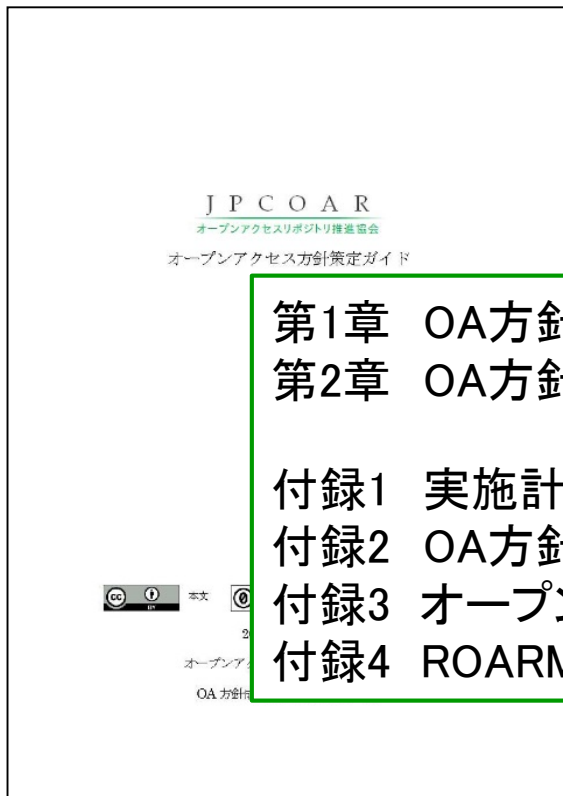
JPCOARの中長期戦略

2018/10/30

小原 智未（広報普及作業部会員：横浜国立大学）



OA方針策定ガイド 改訂版

URL:<http://id.nii.ac.jp/1458/00000043/>

J P C O A R オープンアクセスリポジトリ推進協会	概要 About	組織 Organization	参加機関 Members	参加申込 Join us
JAIRO Cloud とは？ What is "JAIRO Cloud" ?	規程類 Rules	会議資料 Minutes	事業計画 事業報告 Project	各種資料 Publication

オープンアクセス方針・実施要領 リンク集

オープンアクセス方針・実施要領 リンク集 (2018.10.3.現在 25件 / 50音種)

- ・大阪市立大学: [大阪市立大学オープンアクセス方針](#)
- ・大阪府立大学: [公立大学法人大阪府立大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領
- ・岡山大学: [岡山大学学術成果リポジトリ登録要項](#)
- ・沖縄科学技術大学院大学: [OIST補綴リポジトリに関する規則](#) / 実施要領 / ROARMAP
- ・金沢大学: [金沢大学オープンアクセス方針](#) / 実施要領 / ROARMAP
- ・京都大学: [京都大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領 / ROARMAP
- ・九州大学: [九州大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領 / ROARMAP
- ・神戸大学: [神戸大学オープンアクセス方針](#) 英語版
- ・国際日本文化研究センター: [国際日本文化研究センターオープンアクセス方針](#)
- ・島根大学: [島根大学オープンアクセス方針](#) / 実施要領
- ・情報・システム研究機構国立極地研究所: [国立極地研究所オープンアクセス方針](#) 英語版 / ROARMAP
- ・千葉大学: [千葉大学オープンアクセス方針](#)
- ・筑波大学: [筑波大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領 英語版 / ROARMAP
- ・電気通信大学: [電気通信大学オープンアクセス方針](#) / 実施要領
- ・東京外国語大学: [オープンアクセス宣言・オープンアクセス方針](#)
- ・東京歯科大学: [東京歯科大学オープンアクセス方針](#)
- ・東北大学: [東北大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領
- ・徳島大学: [徳島大学におけるオープンアクセスに関する方針](#) / [ガイドライン\(実施要領\)](#)
- ・名古屋工業大学: [名古屋工業大学学術機関リポジトリ運用指針](#) / ROARMAP
- ・名古屋大学: [名古屋大学オープンアクセスポリシー](#) 英語版
- ・一橋大学: [一橋大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領
- ・広島大学: [広島大学オープンアクセス方針](#) 英語版 / 実施要領 / ROARMAP
- ・北海道大学: [北海道大学学術成果コレクション運営方針](#) 英語版 / ROARMAP
- ・北陸先端科学技術大学院大学: [JAIST学術研究成果リポジトリ運用指針](#) 英語版
- ・横浜国立大学: [横浜国立大学オープンアクセス方針](#) / 実施要領 / ROARMAP

リポジトリ運営担当者の皆様へ:

オープンアクセス方針を策定された場合や、掲載内容の修正をご希望の場合は、「[オープンアクセス方針・実施要領 リンク集への掲載・更新連絡](#)」にご記入のうえ、電子メール添付で、オープンアクセスリポジトリ推進協会 (irtf_0a@nii.ac.jp / #を@に変更してください) までご連絡ください。

OA方針・実施要領 リンク集

URL:https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=53

OA方針策定機関実態調査報告書

URL:<http://id.nii.ac.jp/1458/00000043/>

OA方針策定状況 2018/10/3 現在 25件

北海道大学学術成果コレクション運営方針

JAIST学術研究成果リポジトリ運用指針

岡山大学学術成果リポジトリ登録要項

名古屋工業大学学術機関リポジトリ運用指針

2016/11 公立大学法人大阪府立大学オープンアクセス方針

2017/1 神戸大学オープンアクセス方針

2017/2 オープンアクセス宣言・オープンアクセス方針
(東京外国語大学)

2017/9 OIST機関リポジトリに関する規則

2017/10 一橋大学オープンアクセス方針

2017/11 国立極地研究所オープンアクセス方針

2017/12 金沢大学オープンアクセス方針

2018/2 横浜国立大学オープンアクセス方針

2018/3 東北大学オープンアクセス方針

2018/3 広島大学オープンアクセス方針

2018/4 大阪市立大学オープンアクセス方針

2018/5 島根大学オープンアクセス方針

2018/9 電気通信大学オープンアクセス方針

2015/4 京都大学オープンアクセス方針

2015/11 筑波大学オープンアクセス方針

2015/12 国際日本文化研究センターオープンアクセス方針

2016/1 九州大学オープンアクセス方針

2016/1 徳島大学におけるオープンアクセスに関する方針

2016/3 千葉大学オープンアクセス方針

2016/4 東京歯科大学オープンアクセス方針

2016/4 名古屋大学オープンアクセスポリシー

横浜国立大学

- キャンパス:1か所 (神奈川県横浜市常盤台)
- 5学部:教育学部,経済学部,経営学部,理工学部,都市科学部
- 5大学院:教育学研究科,国際社会科学府・研究院,理工学府・工学研究院,環境情報学府・研究院,都市イノベーション学府・研究院
- 構成員数:学生数 約7400人, 大学院生数 約2300人, 教職員数 約1000人

横浜国立大学学術情報リポジトリ(<https://ynu.repo.nii.ac.jp/>)



The screenshot shows the YNU Repository website. At the top, there is a navigation menu with links for 'トップページ', '当リポジトリについて', '登録について', and '横浜国立大学オープンアクセス方針について'. Below the menu, there is a search bar and a list of search results. The first result is titled 'Influence of Magnetic Flux Trapped in Moats on Superconducting...' and includes the authors 'Yamaguchi Yuki, Imai Takahiko, Yoshizawa Nobuyuki' and the journal 'IEEE Transactions on Applied Superconductivity, 28(7), 1301105 (2018-10)'. There is a 'pdf' link next to the title. The second result is 'Ionic polymer actuators using poly(ionic liquid) electrolytes' by Kokubo Hisashi, Sano Ryo, Murali Koita, Ishii Shunta, and Watanabe Masayoshi, published in 'European Polymer Journal, 105, 266-272 (2018-09)', also with a 'pdf' link. The third result is 'Design methodology of single-flux-quantum flip-flops composed...'.

2008年10月

正式公開 (DSpace使用)

2017年4月

JAIRO Cloudでの本格運用開始

2018年2月

横浜国立大学オープンアクセス方針策定

- 登録件数:約9200件 (2018年9月末時点)
- 学術情報リポジトリ運営委員会
委員:理事,図書館長,情報基盤センター一長,各部局教員
- 主担当職員:2名(常勤:係長・係員)

横浜国立大学

オープンアクセス方針

(http://www.lib.ynu.ac.jp/about/pdf/oa_policy.pdf)

- ・ 趣旨
- ・ 学術論文等の公開
- ・ 適用の不遡及
- ・ 適用の例外
- ・ 学術論文等の提供
- ・ その他

実施要領

(http://www.lib.ynu.ac.jp/about/pdf/oa_guideline.pdf)

(趣旨)

横浜国立大学（以下「本学」という。）は、本学の教育研究活動において作成された学術情報等を学内外に公開することを通じて、社会の負託に応え、世界の学術研究のさらなる発展に寄与することを目的として、オープンアクセスに関する方針を以下のように定める。

(学術論文等の公開)

本学は、本学に在籍する教職員の学術論文等を、横浜国立大学学術情報リポジトリ（以下、「リポジトリ」という。）、または、その他当該論文の著者が選択する方法によって、公開する。ただし、学術論文等の著作権は、本学には移転しない。

(適用の不遡及)

本方針施行以前に出版された学術論文等や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した学術論文等には、本方針は適用しない。

(適用の例外)

リポジトリでのオープンアクセス化を選択した場合において、著作権等のやむを得ない理由で公開が不適切であるとの申出が著者からあった場合、本学は当該学術論文等を非公開とすることができる。

策定までの道のり

2016年6月	リポジトリ運営委員会で研究成果公開に関するポリシーの策定に向け検討を開始すると提言
2016年12月	リポジトリ運営委員会で他機関のOA方針に関しての状況報告
2016年12月～ 2017年2月	各部局教授会でOA,OA方針に関する説明
2017年6月	リポジトリ運営委員会でOA方針(案)作成WG立ち上げ WGメンバー:図書館長・各部局教員・担当係職員・URA(オブザーバ)
2017年7月～8月	策定WGによる方針(案)作成会議 (全2回開催)
2017年9月	WG作成OA方針(案)をリポジトリ運営委員会で報告 各部局での検討願い、質問・意見募集
2017年10月	OAに関する勉強会として外部講師による講演会実施
2017年12月	OA方針(案) リポジトリ運営委員会承認
2018年2月	OA方針 教育研究評議会承認

策定に向けた活動

- ・ 方針の策定主体……図書館
理事の要請,他大学の状況
→当初目標より早く策定
- ・ 方針案の作成……OA方針(案)作成WG
OAに関する意見交換等の場に
→教員にOA,OA方針を理解してもらう
公開場所の問題(ゴールドOAの扱い),文言の問題
- ・ 課題……方針の実効性
教授会での説明,講演会の実施

策定を振り返って

- ・ 方針策定のキーパーソン……図書館長
図書館職員と教員をつなぐ役割
- ・ 事前に検討すべき……教員の負担感軽減策
「OA,OA方針の理念に共感はするけど…」
インセンティブ,研究フローに沿った仕組みの必要性
- ・ 地道な対応の積み重ね

～現在

方針策定後の活動

- ・ 広報・周知
- ・ 登録依頼

方針策定の利点

- ・ 重要度向上
- ・ 登録の裏付け
- ・ 登録件数増加

現状の課題

- ・ 方針の周知・理解
- ・ 研究フローでの位置づけ
- ・ モニタリング
- ・ 業務負担の増加

オープンアクセス方針策定はスタート地点